

北の縄文文化を発信する会・連続講座

# 縄文人はどこへ行ったか？

日本列島に1万年にわたる文化を築いた人々。私たちの遺伝子につらなる縄文人の謎を追う。

2011年7月10日(日) 15:00~  
(16:30 終了予定)

第2回

「縄文の心の行方を追いかける」  
ゆくえ



ゲスト 伊達市噴火湾文化研究所長 おおしま なおゆき 大島 直行さん

■略歴

釧路管内標茶町出身。札幌医科大学客員教授。長年、縄文人の精神文化について研究し、人類学や宗教学、心理学など従来の考古学とは異なった視点から縄文人の「心」に迫りつつある。また、「遺跡は住民のものである」という考えのもと、道内各地に縄文の勉強会を立ち上げ、文化財の活用に取り組んでいる。「世界文化遺産100人委員会」に参加するなど、縄文文化を世界遺産にするための活動にも力を入れる。

近著に、『対論：文明の原理を問う』（安田喜憲編、麗澤大学出版会、2011年6月刊）。

2011年9月11日(日) 15:00~  
(16:30 終了予定)

第3回

「縄文以降の人類—  
歯から読み解くアジアにおける稲作農耕民の大移動」



ゲスト 札幌医科大学医学部解剖学第二講座 准教授 まつむら ひろふみ 松村 博文さん

■略歴

兵庫県出身。専門は、生物人類学の一分野である形態人類学。ヒトの骨や歯の構造などから、人類の進化、現生人類集団の拡散や環境対応のプロセスなどを明らかにしようとしている。東アジア各地の先史時代遺跡の発掘調査を実施し、アジア全体の視野の中で縄文人や日本人の起源についても探求している。

主な近著に「歯の形態から見た渡来系弥生人の江南起源の可能性 中国江南・江淮の古代人—渡来系弥生人の原郷をたずねる—」（山口敏・中橋孝博 編／てらべいあ／2007年）

「縄文人骨の情報 縄文時代の考古学 10. 人と社会」

（小杉康他編／同成社／2008年）など。

入場  
無料

場所

紀伊國屋書店

札幌本店1階  
インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7  
sapporo55ビル



主催 北の縄文文化を発信する会 連絡先 011-221-1122 シーピーツアース内  
URL <http://www.jomon-heritage.org/> ブログ <http://jomon-heritage.org/blog/>

後援 北海道、北海道教育委員会、北海道縄文のまち連絡会